

城東区から

維新の改革をさらに前へ

馬場のりゆき

だからできる政策

城東区
市政対策委員



One Osaka!
大阪維新の会

ボクサーを引退後、 主夫・保育園役員会を経験

そこから見えてきた景色



網膜剥離でプロボクサーを引退後は、主夫となり家庭を支えていこうと決意しました。
そしてやるからには全力でと、保育園役員副会長を2期務めました。
大阪は、維新の改革で待機児童は解消へ進み、保育園整備は拡充されました。
しかし、仕事と家庭の両立に苦勞をしながら毎日を懸命に生きている方が多く、
子どもの突然の病気の際、預かってもらえる所が少ないと感じるのです。
さらに、預けるのにも規則が厳しく制限があり、病児保育の使い勝手の悪さを痛感しました。

女性のさらなる社会進出を目指すには、
子育てをする事が女性のキャリアアップの弊害にならない社会制度や、
育児が人生の選択肢を狭めない社会作りこそが本当の少子化対策では無いでしょうか。
そのためには、究極の子育て支援とも言われる

「病児・病後児保育制度」の拡充と利用しやすい制度づくりに向け
馬場のりゆきは全力で取り組んでいきます。



もっと使いやすいものに！

病児・病後児保育を拡充し、

POLICY

“馬場のりゆき”だからできる 城東区づくり

PROFILE

馬場のりゆきプロフィール

1975年3月13日福岡県生まれ。
高校卒業後プロボクサーを目指し大阪へ。
スーパーフライ級西日本新人王、フライ級日本ラン
キング8位などを獲得するも網膜剥離でボクサー引退。
引退後は主夫として子育て、家事に専念する。家事や
子育ての大変さを痛感。32歳で広告会社を起業。政治
を変える必要性を感じ維新塾へ入塾。令和4年 大阪維
新政治塾優秀賞受賞。これまでの経験を通じて全ての
人が生きやすい世の中を目指し活動中です。

さらなる

子育て
支援の
充実

POINT

病児・病後
保育の
拡充

POINT

拡充とともに
使いやすい
制度に